

ハンドボール NO. 47

Japan
Handball
Association

<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input checked="" type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生
<input type="checkbox"/>	県協会

<input checked="" type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会
<input type="checkbox"/>	地区大会

<input checked="" type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	県営-男36
----------	--------

年月日	2021年8月18日(水)
大会名	令和3年度全国高等学校ハンドボール大会 高松国体大会 72回日本高等学校ハンドボール選手権大会

公式記録用紙

A	九州学院高等学校						神戸国際大学附属高等学校						B	
都道府県		市町村		会場		回数								
福井県		福井市		福井県営体育館		3回戦								
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mTC	A	B
	11	14		27	32									
7m得点/総数		A	チームタイムアウト			チームタイムアウト			B	7m得点/総数				
		1/1	1	2	3	1	2	3	3/3					
			2828	1708	2803	2908	1352							

No.	九州学院高校	G	W	2	D	DR	No.	神戸国際高校	G	W	2	D	DR
1	福島 新大						1 c	上野 俊哉					
2	西山 泰生						2	金川 颯汰	4				
3	村中 登一						3	東 龍樹					
4	隈部 蒼						4	土佐 麟太郎	4				
5	嶋崎 建太郎	6					5	宮本 海里	4				
6	中田 旺志						6	小野 晟直	8				
7	平井 拓徳						7	柴村 春輝					
8	片山 蒼						8	佐孝 明澄	2				
9	鎌田 大聖	3		1			9	林 輝樹	3				
10	林田 凌和	4		1			10	穴田 航也	3				
11 c	守田 慶星	9					11	高橋 素晴	1		1		
12	池田 雄紀						12	久保 大樹					
13	高木 大暉						13	小野田 匡陽	3				
14	渡邊 海崇	5					16	大西 和真					
役員A	重村 達浩						役員A	高橋 裕稀					
役員B	甲斐 蒼彩						役員B	向井 勝二					
役員C	井出 翔大						役員C	北脇 結菜					
役員D							役員D						

A	重村 達浩	チーム役員A署名	高橋 裕稀	B
---	-------	----------	-------	---

レフェリー	魚川 友康	桶家 秀介	魚川 友康	桶家 秀介
TD	伊藤 良知	加納 壽宏	伊藤 良知	加納 壽宏
MO	多田 和生		多田 和生	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール NO. 49

令和3度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2021年 8月18日 水曜
会場	福井県営体育館
種別	男子
回戦	3回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
	九州学院	九州学院	27	11-14	32
後半					
16-18					
第1延長		第2延長		7MC	
—		—		—	
—		—		—	

戦評	前半
	九州学院のスローオフで開始。神戸国際はダブルポストのオフェンス陣形から2番金川・13番小野田のシュートで先行する。一方九州学院は10番林田のスピードを活かしたシュートで追いつける。お互いなかなか決めきれない展開の中で13分過ぎに神戸国際に退場者が出る。この機に九州学院は9番鎌田・14番渡邊のシュートで点差を縮めるが、神戸国際も負けじと退場明け後にGK1番上野のセーブから9番林・6番小野と連続得点を決め、さらに九州学院に出た退場を活かして再び引き離す。九州学院は11番守田が果敢に攻め、14番渡邊・5番嶋崎がシュートを決めるが、神戸国際10番穴田のシュートや6番小野のスカイシュートで得点を上げ3点リードで折り返す。
後半	
九州学院GK1番福島連続セーブから10番林田・11番守田のシュートが決まるが、神戸国際も6番小野・2番金川のシュートでリードを保つ。その後お互い一步も譲らない展開が続く中で神戸国際6番小野が連続得点を上げ4点リードとなったところで九州学院はタイムアウトを要求。九州学院9番鎌田・5番嶋崎のシュートで連続得点で差を縮めるが神戸国際はシングルポストに陣形を変え、9番林・5番宮本がシュートを決め流れを渡さない。残り5分九州学院は高い位置での守備陣形を敷くも神戸国際のスピードある攻撃に対し退場者を出してしまい万事休す。九州学院が攻撃のペースを上げるも、神戸国際も8番佐孝の連続得点も含め攻撃の手を緩めず、神戸国際が一度もリードを許すことなく勝利した。	

記入者 臼井 彰宏